

非粘着素材電子カッター『MS-2500非粘着仕様』 取扱説明書

- ・ この度は、非粘着素材電子カッター『MS-2500非粘着仕様』を御購入頂き誠に有難う御座います。本書は『MS-2500非粘着仕様』の補足説明書となります。
- ・ 本製品は非粘着素材専用機種となります。弱粘着・微粘着剤等の粘着テープの御使用は出来ませんので御注意下さい。
- ・ 基本操作は『MS-1100』と同様になりますので使用方法の詳細につきましては製品に同梱されている『MS-1100』の取扱説明書をよくお読み下さい。
- ・ 『MS-1100』に付いている保証書は本製品で使用出来ますので大切に保管して下さい。

● 使用可能種類

・ビニール結束ワイヤー類	・リボン類
・絶縁チューブ類	・紐類
・非粘着テープ類	

※但し、特殊な場合は使用出来ない物があります。

● セット方法について

- ① リールを取り外します。
- ② 非粘着素材(紙管の付いているロール状の物)をリールに嵌め込み本体にセットします。
(付属のリールは『1インチ』『φ 35』『3インチ』になります。)
紙管の径が合わない場合はオプションのリールを御用意しておりますのでご相談下さい。
オプションリール
『φ 30～φ 35』までの1mm刻み。
『φ 38』
- ③ 付属の『テープ押さえガイド』を素材の幅に合わせて本体の中央部にセットして下さい。
- ④ 素材の先端部を上下ローラーの間に差し込んで送りキー『↓』を数回に分けて押し少しずつ素材を送り出して下さい。
- ⑤ 素材をガイドの間に入れてシャフトをセットして下さい。
- ⑥ オートフィードカッターユニット間口より素材を3～4cm程度送り出しましたらカットキー『✂』を押してカットして下さい。

- 取扱方法について御不明な点、御相談は下記相談窓口までお問い合わせ下さい。

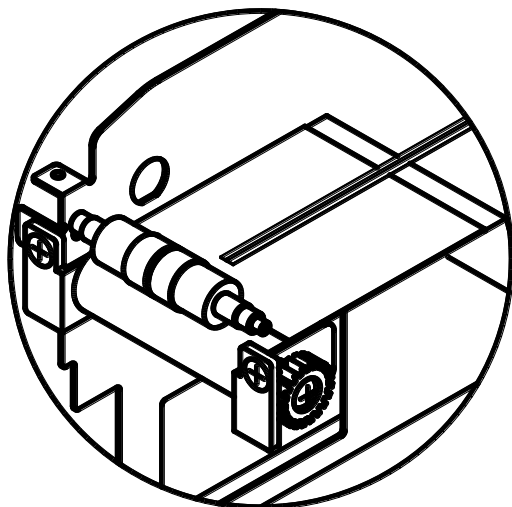
御相談窓口

〒264-0025	
千葉県千葉市若葉区都賀2-18-5	
株式会社 エクト 千葉工場	
TEL 043-214-4882	FAX 043-214-4883

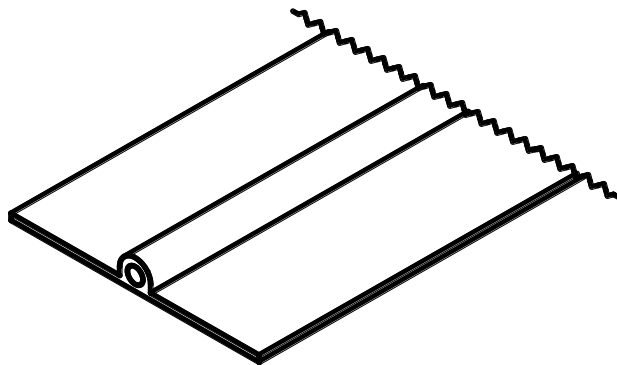
MS-2500

素材別セット方法

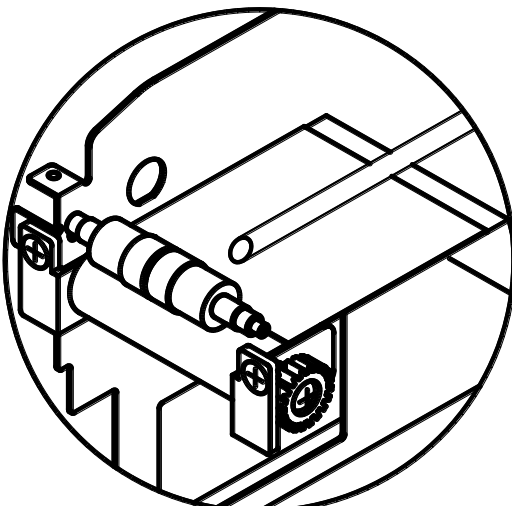
①ビニタイ



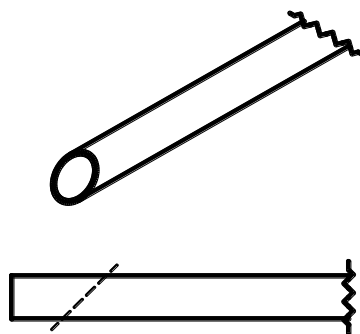
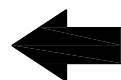
- ・針金が上になる様にセットして下さい。
- ・針金がなるべく押さえローラーの中央溝に当たる様に位置決めするときれいにカットされます。



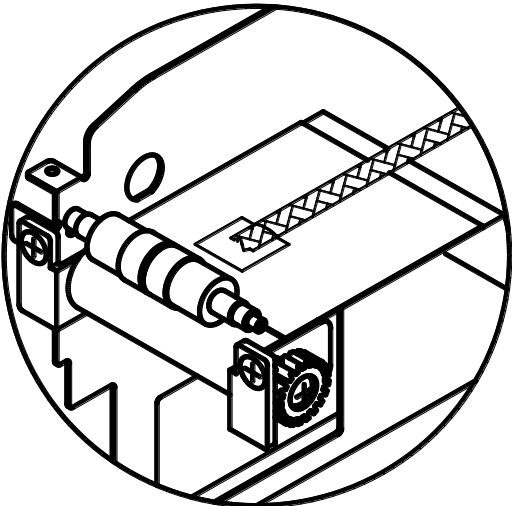
②絶縁チューブ等



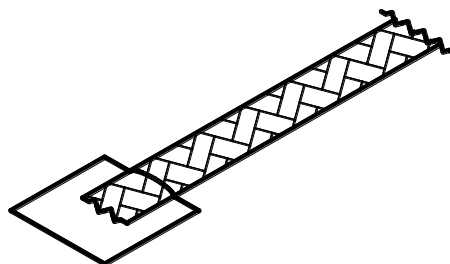
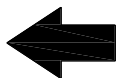
先端を斜めにカットしますとセットしやすくなります。



③紐、厚めで入れにくい物



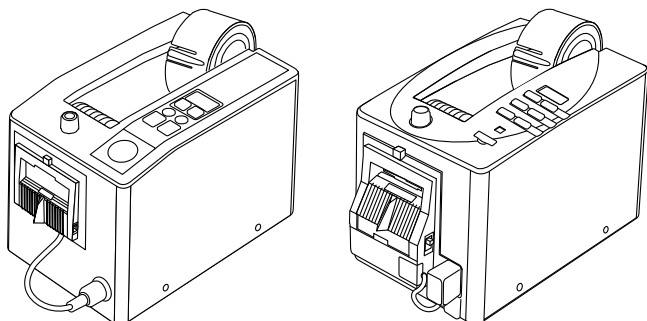
- ・先端にセロテープ等を貼り、薄く広くしますとセットしやすくなります。



電子テープディスペンサー M-1000/ M-2000 MS-1100/ MS-2200

取扱説明書

保証書付



このたびは、当社 電子テープディスペンサーをお買い上げいただきありがとうございます。
はじめに取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

裏面に記載されている保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。

MADE IN JAPAN

目次

1 はじめに		
1.1 製品比較表		2
1.2 本書の見方（マークについて）		2
2 安全上のご注意		
2.1 安全にお使いいただくために		2
2.2 ⚠ 使用上のご注意		4
2.3 設置について		4
3 ご使用になる前に		
3.1 各部の名称		5
3.2 操作部の名称と機能 M-1000/ M-2000		6
3.3 操作部の名称と機能 MS-1100/ MS-2200		7
3.4 中巻きリール・小巻きリールの取り出し方		8
3.5 プレッシャーつまみの調整		8
3.6 オートフィードカッターユニット		9
3.7 セーフティガード機構について	1100 2200	9
4 ご使用方法		
4.1 セットアップ方法		10
4.2 テープのセット方法		10
4.3 テープの長さの設定		11
4.4 入力した長さ設定をリセットする方法		11
4.5 自動送り（オートフィード）で使用する		12
4.6 手動送り（キー操作）で使用する		12
4.7 テープの交換方法		12
4.8 3種類の長さメモリーの登録とモード選択	2000 2200	13-14
4.9 登録した長さの変更		14
4.10 テープ詰まった場合の取り出し方		15
4.11 エラー表示「Err」「---」の解除方法	1100 2200	15
4.12 テープ押さえガイド（別売部品）～テープの蛇行防止に～		15
5 メンテナンス		
5.1 オートフィードカッターユニットの着脱方法とお手入れ		16-17
5.2 詰まったテープが（リバースキーで）戻らない場合の解除方法		17
5.3 オートフィードカッターユニットに、テープが詰まった場合の解除方法		17
5.4 カッターの定期的お手入れ		17
5.5 カッター、カッターライナーの交換		18
5.6 はくりローラーユニットの交換		19
5.7 ヒューズの交換		20
6 こんなときは		21-22
7 保守・点検・サービス		22
8 部品展開図	M-1000/M-2000	23-24
9 部品展開図	MS-1100/MS-2200	25-26
10 部品表		27-29
11 製品仕様		30
12 保証規定	電子テープディスペンサー 保証書	裏表紙

1 はじめに

この取扱説明書は、M-1000、M-2000、MS-1100、MS-2200 の4機種のお取り扱いいただく内容が記載されています。この製品は、工業用の電動テープディスペンサーです。主として工業用テープを自動搬送、切断する装置です。製品それぞれの機能は下の製品比較表をご参照ください。

<安全に関する規約>

この装置を家庭環境で使用すると電磁波妨害が発生することがあります。この場合は、使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。

1.1 製品比較表

品 番	M-1000	M-2000	MS-1100	MS-2200
自動送り、自動カット	●	●	●	●
メモリー機能 (3種類の長さ)	—	●	—	●
セーフティガード	—	—	●	●

メモリー機能（3種類の長さ）については、P.13をご参照ください。

セーフティガードについては、P.9をご参照ください。

1.2 本書の見方（マークについて）

本書は電子テープディスペンサー M-1000、M-2000、MS-1100、MS-2200 の4機種についての取扱説明が書かれています。各機種に対して下記のようなマークで区別しています。

<品番表示マーク>

M-1000 M-2000 MS-1100 MS-2200

1000

2000

1100

2200

<メモリーキー>

M-2000



MS-2200



2 安全上のご注意

2.1 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示の意味は次のようになっています。

	警告 「死亡または重症を負う可能性がある内容」です。
	注意 「傷害を負う可能性や、物的損害の発生が予想される内容」です。

■お守りいただく内容の図記号表示について

	「してはいけないこと」です。
	「実行しなければいけないこと」です。

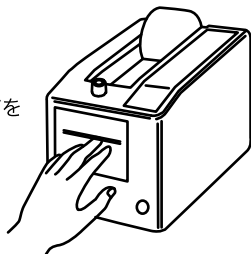
警告



テープの出口に指を
入れない

禁止

カッター刃に触れてけがを
することがあります。



注意



紙や布などを本機の上
にかぶせたり置いたりしな
い

禁止

故障・発火などの原因に
なります。

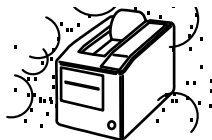


注意



水・湿気・ホコリの多い
場所で使用しない

禁止



感電・故障の原因になります。



ぐらついたり、傾いている
不安定な場所で使用しない

禁止

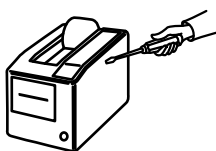


落下するなどして、けがの
原因になります。



ご自分で分解・修理・
改造はしない

禁止

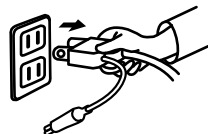


故障・発火などの原因になります。



部品交換や設置場所を移動するときは、
電源スイッチを切り、電源プラグをコ
ンセントから抜く

電源プラグ
を抜く

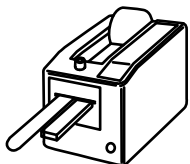


誤ってキーを押すと、作動
して危険です。



テープの出口に棒など
を差し込まない

禁止



カッターが故障するこ
とがあります。



強い衝撃を与えない

禁止



火災・破損の原因になります。
※本体を持ち運ぶ場合は必ず本体底面よ
り持ち運んでください。落とした場合、
ケガをすることがあります。



本体は、ABS 樹脂ですので、
工業用油やシンナー・ベンジ
ンなどで拭かない

禁止

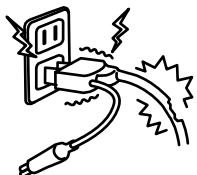


破損することがあります。



電源プラグ・コード・
コンセントが痛んだま
ま、ゆるんだまま、ホ
コリが詰まったまま使
用しない

禁止



火災・感電・故障の原因
になります。

注意



引火性のもので本体を清掃しない
引火性のものの近くで使用しない
(可燃性ガススプレー等含む)

禁止

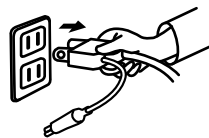
発火することがあります。



AC100V 以外の電源 では
使用しない

禁止

火災・感電・ケガの
原因になります。



警告

アース(接地)について

コンセントに電源プラグを差し込むときは、アース(接地)をしてください。

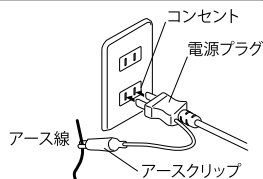
故障や漏電のときに、感電事故を起こすおそれがあります。

アースクリップは、以下のような場所には接続しないでください。

ガス管：爆発や引火の原因になります。避雷針・電話線：落雷のときに危険です。

水道管：感電の原因になります。途中がプラスチックになっている場合は、

アースになりません。



2.2 使用上のご注意

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ずお守りください。

- ・故障のまま本機を使用しないでください。(使用中や保管時に異臭を感じたり、発熱・変色変形、その他。)
- ・今までと異なることに気がついたときは、電源プラグをコンセントから抜き、すぐに使用を中止してください。
- ・大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA 機器等)とコンセントは共用しないでください。
- ・ご購入時の状態を維持するため、定期メンテナンス、消耗品の交換が必要です。
- トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。
 - ・温度が5℃以下、40℃以上になる場所で使用しないでください。
 - ・温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。

- 本製品が対応できない場合があるテープ：著しくカールが強い粘着、展開力が強い、薄い、滑る、静電気が起きやすいテープ。または非粘着テープ。伸縮性のあるテープ、透明度が高いテープを一定の長さにカットすることはできません。一般的なテープでも本製品で使用できないテープも多数ございます。ご使用のテープがご使用にできない場合は、当社または販売店にご相談ください。

2.3 設置について



注意

電源スイッチが「ON」のままですと、誤ってキーを押したとき作動して危険です。必ず「OFF」状態を確認してください。

明るい場所(センサーの機能を妨げる明るさ)に設置しないでください。

※光源の種類によって異なりますが、明るい場所でご使用になりますと、センサーが誤作動する場合があります。また、透明度が高いテープ、黒いテープ、またはカールが強いテープ等では自動送り機能が使用できない場合があります。

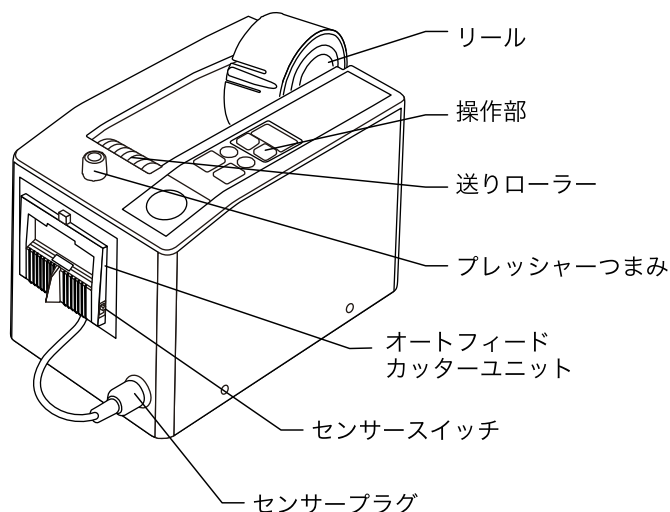
センサーの機能を妨げる明るさ目安

- ・明るい窓際に、センサーを向けている場合
- ・白熱灯 800 ルクス以上の場合 (60W 灯下 45cm くらい)
- ・蛍光灯 3000 ルクス以上の場合 (40W 灯下 30cm くらい)

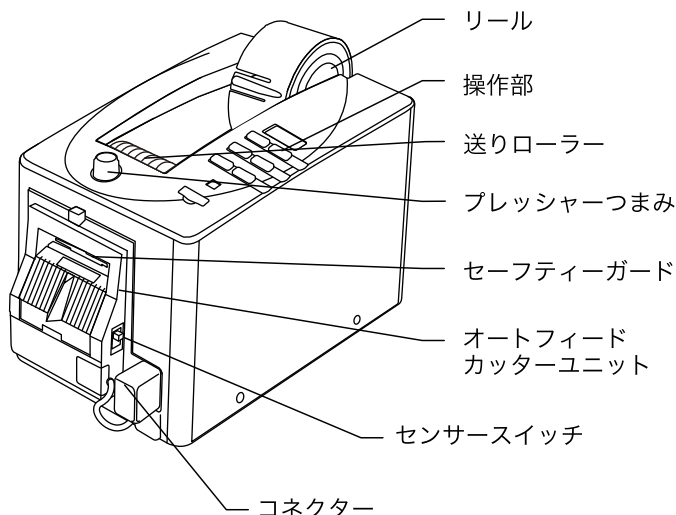
3 ご使用になる前に

3.1 各部の名称

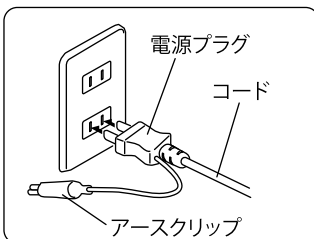
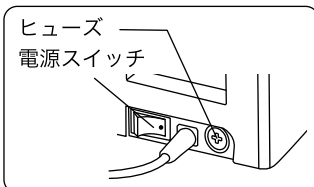
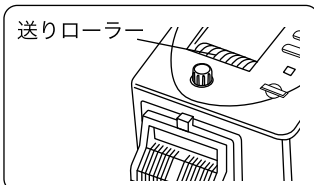
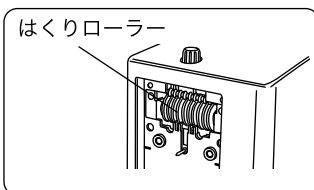
M-1000/ M-2000



MS-1100/ MS-2200

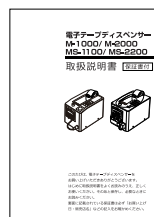


部分図 (全機種共通)



付属品 (全機種共通)

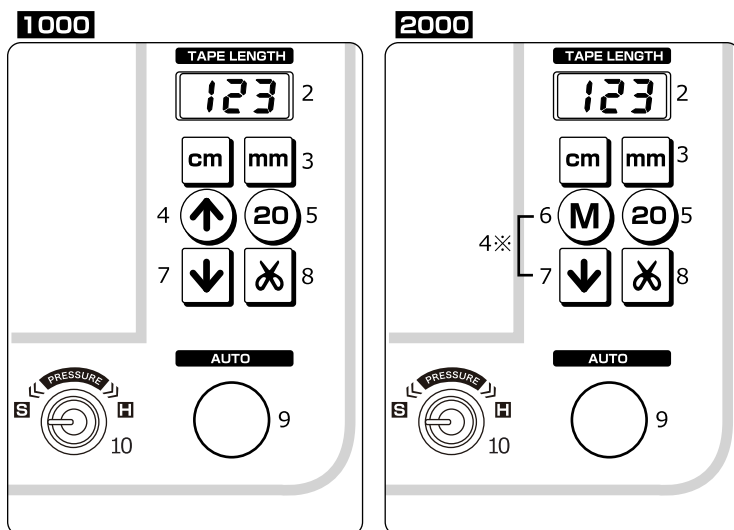
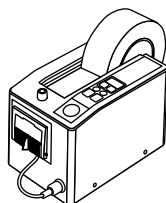
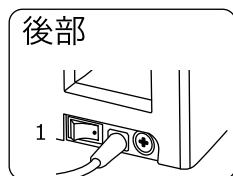
取扱説明書



シリコンオイル
約 5cc 1 本

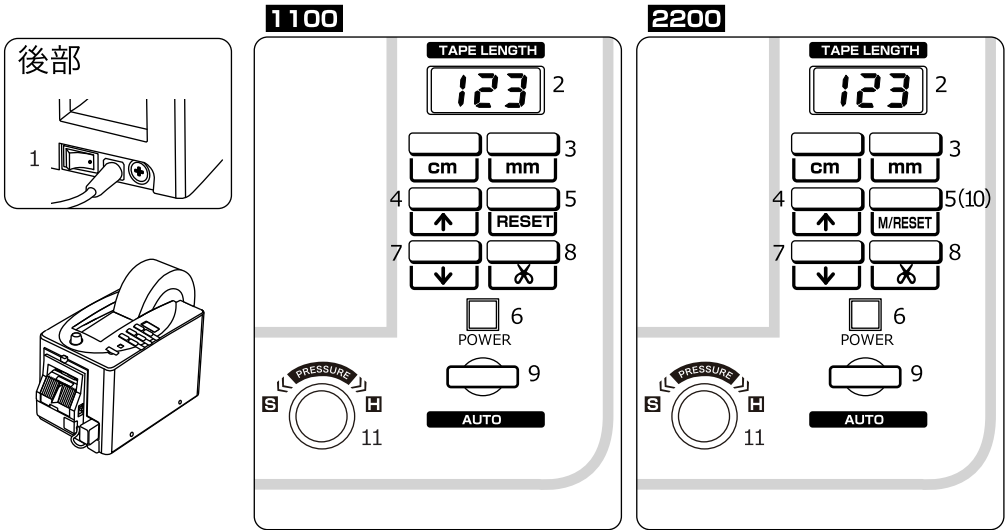


3.2 操作部の名称と機能 M-1000/ M-2000



1 電源スイッチ	ON 側を押すと電源が入ります。
2 表示部	最大 3 桁 999mm までのテープの長さ、エラーを表示します。
3 サイズキー	テープを送る長さの設定をします。 mm を押すと、 mm の下 1 桁 0～9mm を設定可能。 cm を押すと、 cm の上 2 桁 20～990mm を設定可能。
4 リバースキー (リバースファンクション)	1000 ↑ を押すと、送りローラーが逆転します。テープ交換時などにご使用ください。 2000 M を押しながら ↓ を押すと、送りローラーが逆転します。テープ交換時などにご使用ください。
5 20 キー	20 を押すとテープの長さが設定可能最小長 20mm になります。
6 メモリーキー	2000 M を長押しすると、テープの長さメモリーの登録が開始されます。短押しで登録したテープの長さの確認ができます。
7 送りキー	↓ を押している間、テープが出てきます。
8 カットキー	✂ を押すと、テープがカットされます。
9 オートキー	AUTO を押すと、表示中の設定長さにテープを 1 回自動送り自動カットします。
10 プレッシャー (圧力) つまみ	つまみを S H 位置に調整することでテープの押さえ圧力をテープに合わせて調整できます。※(プレッシャーつまみの調整は P.8 参照) ※テープによっては効果が発揮できない場合があります。

3.3 操作部の名称と機能 MS-1100/ MS-2200



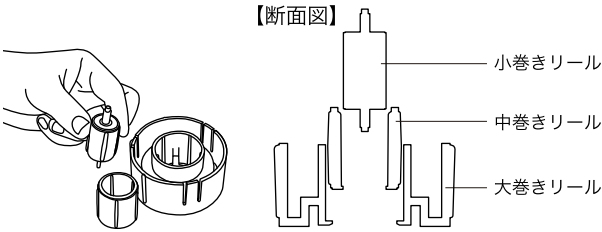
1 電源スイッチ	ON 側を押すと電源が入ります。
2 表示部	最大 3 桁 999mm までのテープの長さ、エラーを表示します。
3 サイズキー	テープを送る長さの設定をします。 mm を押すと、 mm の下 1 桁 0～9mm を設定可能。 cm を押すと、 cm の上 2 桁 30～990mm を設定可能。 mm を押しながら、 cm を押すとテープの長さが設定可能最小長 30mm の表示に戻ります。
4 リバースキー	↑ を押すと、送りローラーが逆転します。テープ交換時などにご使用ください。
5 リセットキー (メモリー/リセットキー)	RESET を 2 回押すとエラー表示を解除します。 ※テープの詰まりが解消されるまで、エラー表示されます。
6 電源ランプ	□ 電源が入ると LED が緑点灯します。
7 送りキー	↓ を押している間、テープが送り出されます。
8 カットキー	✂ を押すと、テープがカットされます。
9 オートキー	AUTO を押すと、表示中の設定長さにテープを 1 回自動送り自動カットします。
10 メモリーキー (メモリー/リセットキー)	2200 M/RESET を長押しすると LED が点滅し、長さメモリーの登録を開始できます。 短押しで登録したテープの長さの確認ができます。
11 プレッシャー (圧力)つまみ	つまみを S H 位置に調整することでテープの押さえ圧力をテープに合わせて調整できます。※(プレッシャーつまみの調整は P.8 参照) ※テープによっては効果が発揮できない場合があります。

3.4 中巻きリール・小巻きリールの取り出し方

軸を平らな面に押しつけると、リールが外れます。

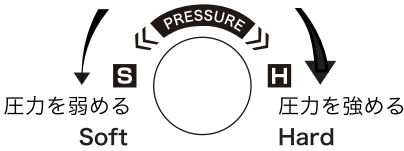
※ 軸を平らな面に押しつける際に大巻きリールの方向が正しい方向であるか確認してください。

小巻きリール外径	1 インチ (φ25mm)
中巻きリール外径	φ35mm
大巻きリール外径	3 インチ (φ76mm)



3.5 プレッシャーつまみの調整

テープを押さえているローラーの圧力を調整します。



① テープの材質に合わせてローラーの圧力を調整します。

(例) テープの種類	プレッシャーつまみの調整目安
クラフト粘着テープ、布粘着テープ	 強める
フィラメントテープ、クレープテープ	 弱める

② 送りキー を押してテープの出力を確認（調整）してください。

③ 次のような場合は調整してください。

状 況	圧 力	プレッシャーつまみの調整
テープが出てこないで詰まる	弱すぎる	H の方向へ 強める
	強すぎる	S の方向へ 弱める
テープがカールして出る	弱すぎる	H の方向へ 強める
テープが垂れ下がって出る	強すぎる	S の方向へ 弱める
テープに強い筋目が刻まれる	強すぎる	S の方向へ 弱める

※テープを正しく送り出すために、ある程度の押さえ圧力が必要です。テープの種類により、筋目が出る場合があります。また、テープの種類によっては効果が現れない場合があります。

3.6 オートフィードカッターユニット

■各部の名称

1 オープンつまみ

2 カッター

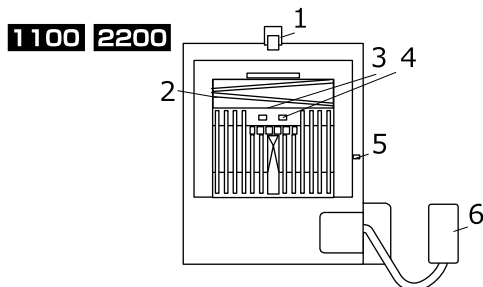
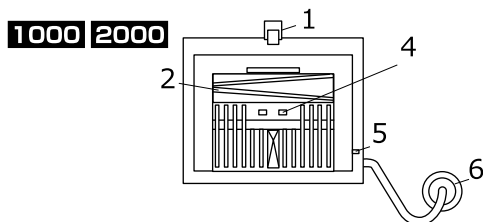
3 セーフティガード **1100 2200**

※セーフティガード機構について（下項目）をご参照ください。

4 センサー

5 センサースイッチ

6 センサープラグ（コネクタ）



- ・カッターと、センサーが一緒になったユニット部品です。
- ・センサーは、テープ出口にテープがあるか、無いかを検知します。（スイッチ ON 状態）
- ・センサーは、テープが無いことを検知すると、本体に次のテープ送り出しとカットを指令します。



警告

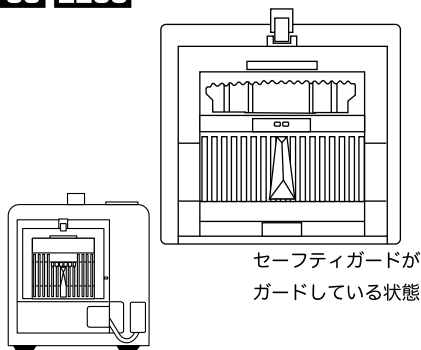
テープの出口に指を入れないでください。 カッターに触れてケガをすることがあります。

3.7 セーフティガード機構について **1100 2200**

セーフティガードとは、カッター作動時にオートフィードカッター内にテープ以外の異物を検知した場合、カッターの作動を停止させる装置です。

※テープ出口にテープ以外の物が挟まるとセーフティガードがカッターの作動を停止させ表示部にエラー **Err** の表示が点滅します。

※セーフティガードが上がっている状態でオートフィードカッターが本体にセットされ、AUTO キー、送りキーを押すか、センサースイッチを ON にすると表示部にエラー **---** の表示が点滅します。



※M-1000/M-2000 にはセーフティガード機能はありません。

4 ご使用方法

4.1 セットアップ方法



注意

電源スイッチとオートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。電源スイッチが「ON」のままですと、誤ってキーを押したとき作動して危険です。

- ① オートフィードカッターのコネクタを本体に差し込んでください。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
コンセントに電源プラグを差し込むときは、アース(接地)をしてください。



警告

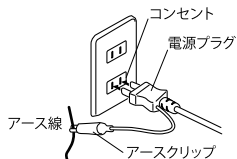
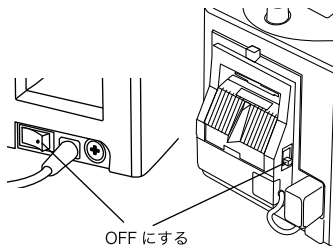
アース(接地)について

コンセントに電源プラグを差し込むときは、アース(接地)をしてください。故障や漏電のときに、感電事故を起こすおそれがあります。

アースクリップは、以下のような場所には接続しないでください。
ガス管：爆発や引火の原因になります。

避雷針・電話線：落雷のときに危険です。

水道管：感電の原因になります。途中がプラスチックになっている場合は、アースになりません。



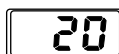
③ 1000 2000

電源スイッチを「ON」にします。M-1000/ M-2000 は始めの表示でテープ長さが設定可能最小長「20」が表示されます。

1100 2200

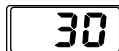
電源スイッチを「ON」にします。MS-1100/ MS-2200 は始めの表示でテープ長さが設定可能最小長「30」が表示されます。

1000 2000



テープ長さが設定可能最小長「20mm」の意味です。

1100 2200

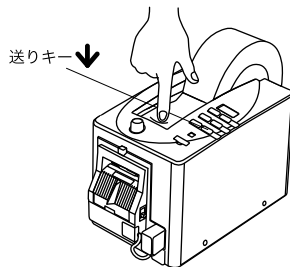
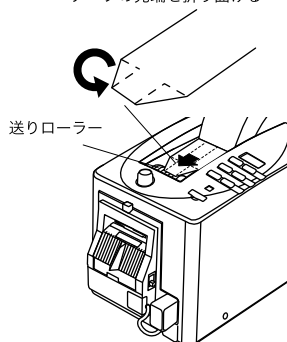


テープ長さが設定可能最小長「30mm」の意味です。

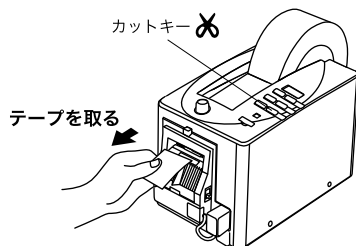
4.2 テープのセット方法

- ① リールを後方へ引き抜き、はずします。
- ② テープをリールにはめ込み、本体にセットします。
※テープがリールの中央に位置するようにセットしてください。
曲がった状態でセットするとテープがつかまる場合があります。
- ③ テープの先端を折り曲げ（拡大図）、送りローラーの中央に貼り付けます。
- ④ 貼り付けたテープの上を指で軽く押さえながら送りキー  を少しずつ、数回に分けて押しテープを送ります。
※テープが出てこない場合は、P.8 プレッシャーつまみの調整をご参照ください。

拡大図：
テープの先端を折り曲げる



- ⑤ 必要に応じて、プレッシャーつまみを回してテープに加える圧力を調整してください。(プレッシャーつまみの調整は P.8 をご参照ください。)
- ⑥ オートフィードカッターユニットのテープ出口から、テープを 3～4cm 程度出してください。
- ⑦ カットキー  を押してください。
テープがカットされますので、カットされたテープを取り除いてください。これでテープセット完了です。



4.3 テープの長さの設定

一定の長さで切る寸法を設定します。

オートフィードカッターのセンサースイッチが「OFF」であることを確認してください。

サイズキー **mm cm** を押して、必要な長さに設定してください。

- ① **mm** を押すと、下 1 桁の長さ設定ができます。
- ② **cm** を押すと、上 2 桁の長さ設定ができます。

・サイズキーを、押し続けると、数字を早送りできます。

・電源を OFF にした場合でも、前回の設定値はバックアップされています。

1000 2000

テープ長さが設定可能最小長：20mm～999mm

1100 2200

テープ長さが設定可能最小長：30mm～999mm

表示ディスプレイ

20

↓ 下 1 桁

27

↓

27

↓ 上 2 桁

457

4.4 入力した長さ設定をリセットする方法

1000 2000

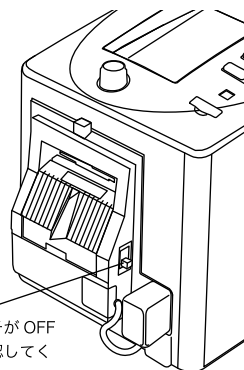
リセットキー **20** を押してください。

テープ長さが設定可能最小長  になります。

1100 2200

mm キーを押しながら **cm** キーを押してください。

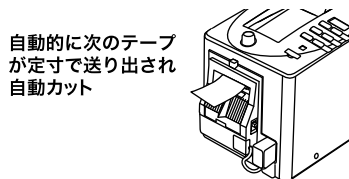
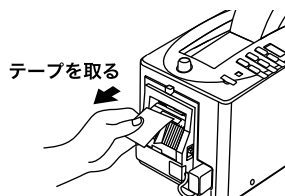
テープ長さが設定可能最小長  に戻ります。



作業前にスイッチが OFF であることを確認してください。

4.5 自動送り (オートフィード) で使用する

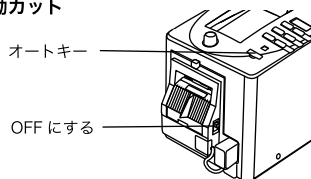
- ① オートフィードカッターユニットのセンサースイッチを「ON」にしてください。
- ② 設定した長さのテープが1枚送り出されてカットされます。
- ③ 出口のテープを取り除いてください。
- ④ 次のテープが1枚出てきてカットされます。



4.6 手動送り (キー操作) で使用する

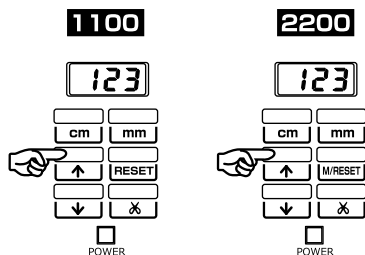
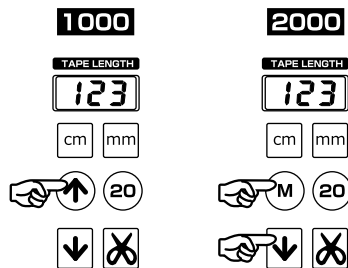
- ① オートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。
- ② オートキー **AUTO** を押してください。
- ③ 設定した長さのテープが1枚送り出されて、カットします。

オートキーを押す毎に登録した長さのテープが自動で送り出され自動カット



4.7 テープの交換方法

- ① オートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。
- ② テープを逆転させて、リバースキー **↑** (M-2000 は **M** を押しながら **↓**) を、少しずつ押してください。
- ③ テープをリールごと後方へ引き抜いて外し、テープを交換してください。





注意

オートフィードカッターユニットのセンサースイッチを OFF になっていることを確認してください。長さを設定中にカッターが作動すると危険です。

4.8 3種類の長さメモリの登録とモード選択

2000 2200

M-2000、MS-2200 は 3 種類のテープの長さメモリに登録することができます。作業内容に応じてモードを選択しなければなりません。まずはじめに、2つのモードの違いをご説明いたします。

・あらかじめ登録した長さから選択し、適宜テーピングする作業に → **プリセットモード**

表示

0

・3 種の長さのテープを繰り返しテーピングする作業に

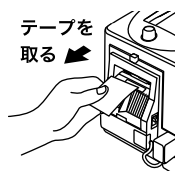
→ **ループモード**

5

プリセットモードの操作手順

メモリーキー **M** (MS-2200 は **M/RESET**) を押して、あらかじめ登録したものの中から必要な長さを選択してください。

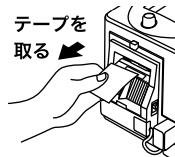
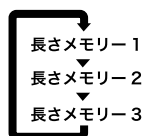
送り出てきたテープを取ってください。



ループモードの操作手順

右の表のようにあらかじめ登録した長さが、順番に送り出されます。

送り出てきたテープを取ってください。



STEP.1 長さメモリの登録

メモリーキー **M** (MS-2200 は **M/RESET**) を、表示が点滅を始めるまで長押ししてください。
※表示点滅中は、メモリー登録のモードになります。

長押し



長さメモリ 1

サイズキー **cm mm** を押して、長さメモリ 1 に登録する長さを設定してください。

※サイズキーの使いかたは P.11 「テープの長さの設定」を参照ください。

メモリーキー **M** (MS-2200 は **M/RESET**) を押します。

長さメモリ 1

例: メモリー 50mm



「999」点滅表示になります。「長さメモリ 2」に進んでください。



長さメモリ 2

サイズキー **cm mm** を押して、長さメモリ 2 に登録する長さを設定してください。

※登録が不要な場合は「999」点滅表示のまま **M** (MS-2200 は **M/RESET**) を押してください。

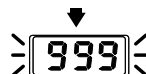
メモリーキー **M** (MS-2200 は **M/RESET**) を押します。

長さメモリ 2

例: メモリー 100mm



「999」点滅表示になります。「長さメモリ 3」に進んでください。



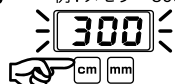
長さメモリー 3

サイズキーを押して、長さメモリー 3 に登録する
長さを設定してください。

※登録が不要な場合は「999」点滅表示のまま **M** (MS-2200 は ) を押してください。

長さメモリー 3

例：メモリー 300mm



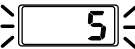
メモリーキー **M** (MS-2200 は )

を押してください。「0」が点滅表示されます。



STEP.2 モード選択

作業内容に合わせて、モード番号「0」か「5」のどちらかを選択してください。

モード番号 0：プリセット(手動選択)モード	モード番号 5：ループ(自動)モード
メモリーキー M (MS-2200 は ) を、表示の点滅が止まるまで長押ししてください。 長さメモリー 1 が表示されて、点滅が止まります。  例：メモリー 100mm 	mm キーを押してください。 モード番号が「5」になります。  メモリーキー M (MS-2200 は ) を、表示の点滅が止まるまで長押ししてください。 長さメモリー 1 が表示されて、点滅が止まります。  例：メモリー 100mm 
↓ プリセットモード設定完了	↓ ループモード設定完了

4.9 登録した長さの変更

● 全部変更

2000 (20) キーを押すと 20mm に設定されます。



- 2200**
1. 電源スイッチを OFF にしてください。
 2. メモリーキー  を押しながら電源を ON にしてください。



● 一部変更 **2000** **2200**

1. メモリーキー **M** (MS-2200 は ) を表示が点滅するまで長押ししてください。
2. メモリーキー **M** (MS-2200 は ) を一回ずつ押して、変更したい長さを表示させます。
3. サイズキーで変更したい長さを入力してください。
4. メモリーキー **M** (MS-2200 は ) を点滅が止まるまで長押ししてください。
長さメモリー 1 が表示されて点滅が止まり、変更が完了しました。

4.10 テープが詰まった場合の取り出し方

- ① リバースキー **↑** (M-2000 は**M**を押しながら**↓**を押してください。)を、少しずつ押してテープを逆転させます。

※テープを図のように手で支え、後方へ巻き取りながら操作をしてください。(右図参照)



- ② セットされているテープを送りローラーからはずしてください。
- ③ 戻した部分をはさみなどでカットしてください。

4.11 エラー表示「Err」「---」の解除方法

エラー表示の解除方法については、P.21-22 のエラー表示の欄をご参照ください。

オートフィードカッターユニットの着脱方法は P.16 をご参照ください。

※ 問題が解消しない場合は、弊社または販売店にご相談ください。

4.12 テープ押さえガイド (別売部品)

※別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

※テープ幅の細いテープをご使用のとき、センサーからはずれやすいテープのとき、テープ走行の補正に効果的です。また、両面テープのカット長の補正にも有効です。

- ① 送りローラーと、リールの間の平らな面にセットしてください。
- ② ガイドの中央にテープが通過するようにして、テープの先端を送りローラーの中央に貼り付けてください。
- ③ テープの幅に合うようにフラップを調整してください。
- ④ 貼り付けたテープの上を指で軽く押さえながら送りキー **↓** を少しずつ、数回に分けて押してテープを送ります。

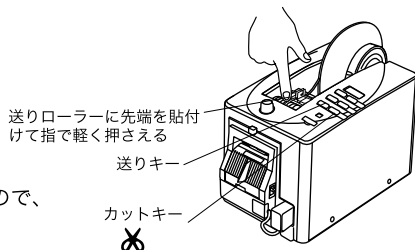
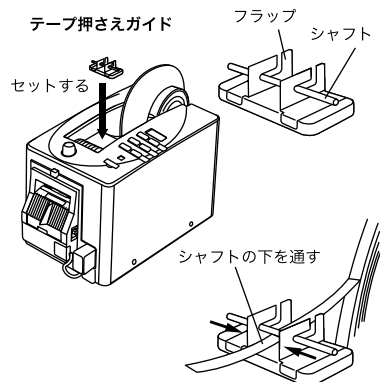
テープが出てこないときは、P.7 を参照してください。

- ⑤ オートフィードカッターユニットのテープ出口から、テープを 3～4 cm 程度出します。
- ⑥ カットキー **✕** を押します。テープがカットされますので、カットされたテープを取り除きます。

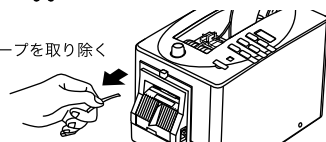
～テープの蛇行防止に～

<仕様>

部品名	有効幅
テープ押さえガイド	7～30mm



カットされたテープを取り除く



 警告	カッターに触れないでください。けがの原因になります。
 注意	オートフィードカッターユニットを脱着する場合は、電源スイッチとセンサースイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、カッターが作動して危険です。

5 メンテナンス

5.1 オートフィードカッターユニットの着脱方法とお手入れ

オートフィードカッターユニットはメンテナンス等の作業がしやすいように、簡単に着脱できる構造になっています。

<取り外し方法>

- ① 電源プラグを抜いてください。
- ② センサースイッチを「OFF」にしてください。
- ③ センサープラグ（コネクタ）を持ち、まっすぐに引き抜きます。（図 1）
- ④ オートフィードカッターユニットの上のオープンつまみを押さえながら手前に引くと、はずれます。（図 2）
※はずす場合はコネクタコードを引っ張らないでください。コードが断線する場合があります。

1000 2000



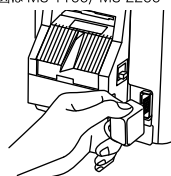
センサープラグ

1100 2200

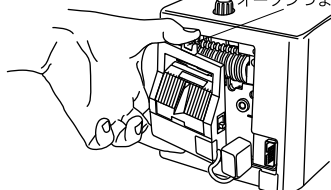


コネクタ

（図 1）
オートフィードカッターユニット
※図は MS-1100/ MS-2200



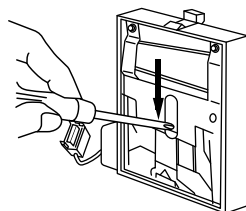
（図 2） オープンつまみ



<セット方法>

- ① センサースイッチを「OFF」にしてください。
- ② ドライバー等の工具でシャッター、カッターを上下させシャッター（※シャッターは MS-1100、MS-2200 の機能です。）とカッターを一番下まで下げて、オートフィードカッターユニットを本体にセットしてください。

シャッターとカッターを一番下まで下げる



- ③ オートフィードカッターユニットの下部を本体に合わせてから上部を押し込んでください。

※オートフィードカッターを装着する場合は、コードを引っ張らないでください。コードが断線する恐れがあります。

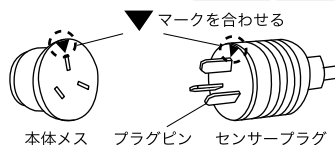
- ④ センサープラグを奥まで、差し込んでください。**1000 2000**
両プラグの ▼ マークを合わせて、奥まで差し込んでください。

※プラグピンが折れたり、曲がったりしないように十分注意してください。

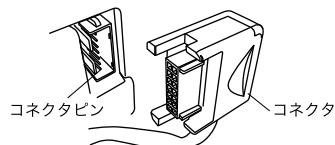
コネクタピンを奥まで、差し込んでください。**1100 2200**

※コネクタピンが折れたり、曲がったりしないように十分注意してください。また、コネクタを着脱する場合は、コネクタカバーをはずさないようにしてください。

センサープラグ先端部分 **1000 2000**

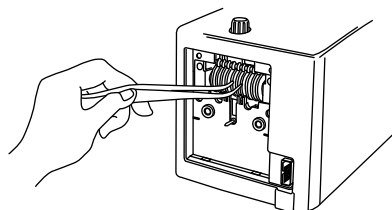


コネクタ先端部分 **1100 2200**



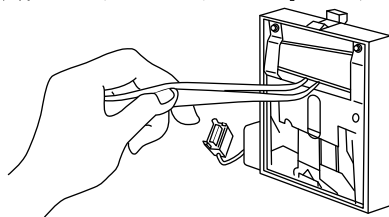
5.2 詰まったテープが（リバースキーで）戻らない場合の解除方法

- ① オートフィードカッターユニットをはずしてください。
※(オートフィードカッターユニットの外し方は。P.16
をご参照ください。)
- ② テープの途中をはさみなどで切ってください。
- ③ 出口付近に詰まったテープをピンセットなどで取り除いてください。



5.3 オートフィードカッターユニット（内蔵カッターのすきま）に、テープが詰まった場合の解除方法

- ① オートフィードカッターユニットをはずしてください。
※(オートフィードカッターユニットの外し方は。P.16
をご参照ください。)
- ② 裏側のカッターのすき間を確認してください。
- ③ ピンセットなどで詰まったテープを取り除いてください。



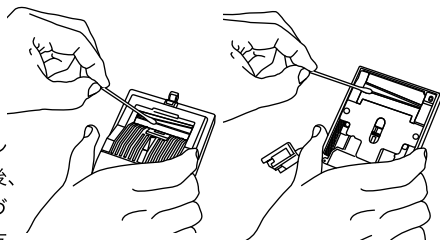
5.4 カッターの定期的お手入れ



注意

アルコールなどを使用する際は、オートフィードカッターユニットを本体から外してください。
発火の危険があります。

定期的にカッターに付着した糊残りを除去してください。
カッターには特殊コーティングが施してあり、糊残りが（糊が付着）しにくくなっていますが、粘着テープをカットしていくと少しずつ糊がカッターに付着します。
製品本来の能力が低下してしまいます。定期的にアルコールなどを付けた綿棒にて糊を除去して下さい。糊を除去した後、付属シリコンオイルを微量塗布しますと、より糊が付着しづらくなります。※(オートフィードカッターユニットの外し方は、P.16をご参照ください。)



**警告**

カッターを取り扱う場合は十分に注意してください。

5.5 カッター、カッターライナーの交換

カッターの交換 ※詳しくは、部品に添付の説明書をお読みください。

※別売り部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

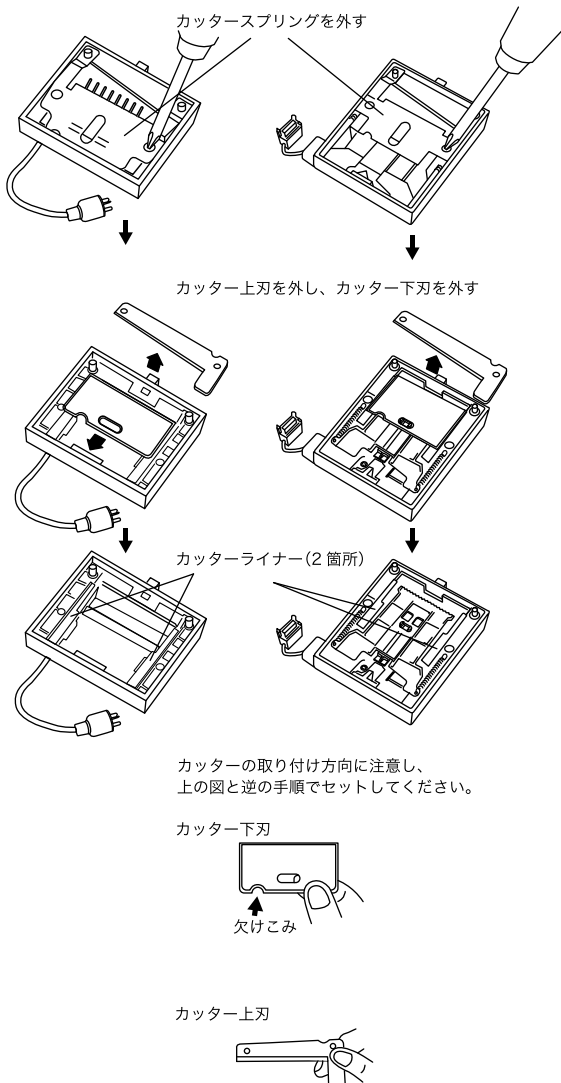
1000 2000**1100 2200**

- ① オートフィードカッターユニットをはずしてください。(取り外し方は P.16 をご参照ください。)
- ② ネジ2本をはずし、カッタースプリング (押さえ板) を取り除いてください。

**注意**

シャッター部を手で押さえながら、部品が飛び出さないように、注意してカッタースプリングを外してください。

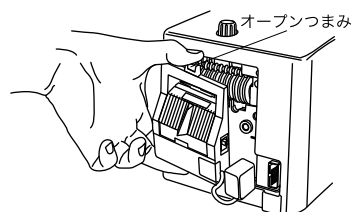
- ③ カッターをはずしてください。
カッターを外す時は、刃で手を切らないようにご注意ください。
- ④ カッターライナーの交換が必要な場合は左右を確認しスリットに合うようにセットしてください。
カッター下刃をセットします。フッ素コーティング面 (ツヤのない黒い面) を上にしてください。
半円形の欠けこみが左下になります。
- ⑤ カッター上刃をセットします。塗装面 (ツヤのあるほう) を上にしてください。
- ⑥ カッタースプリング (押さえ板) を戻してください。
- ⑦ ネジ2本でとめてください。
＊カッターの向き / 表裏を反対にセットするとテープは切れません。



 警告	カッターに触れないでください。けがの原因になります。
 プラグを抜く	必ず電源を OFF にしてください。カッターが作動して危険です。

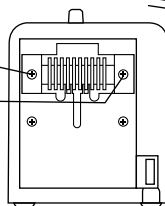
5.6 はくりローラーユニットの交換

- ① オートフィードカッターユニットをはずしてください。※(オートフィードカッターユニットの外し方は、P.16 をご参照ください。)



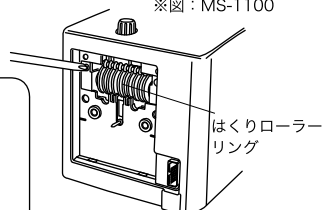
- ② 図 1 の矢印のネジ ① ② を +ドライバーで外してください。

本体正面図



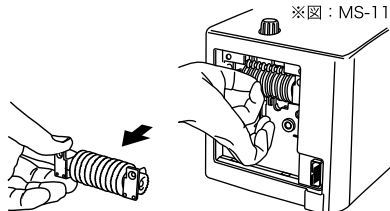
- ③ はくりローラーユニットのはくりローラーリングの中央部を指でつまんで、手前に引くと、はくりローラーホルダーユニットが外れます。

※図：MS-1100



- ④ ローラーホルダーユニットの左右のネジをはずして、はくりローラーギヤとローラー軸をシャフトから抜き取ってください。

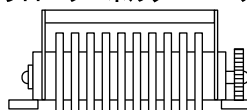
※図：MS-1100



注意

はくりローラーホルダーに、はくりローラーを取り付ける際、はくりローラーギヤとローラー軸の左右を確認してください。
※逆にセットした場合、テープが正しく送られません。

はくりローラーホルダーユニット 正面図

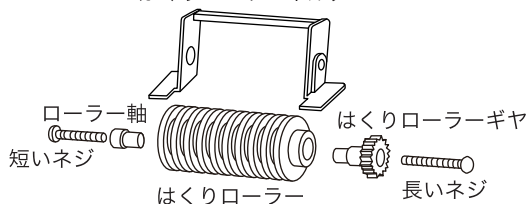


- ⑤ 新しいはくりローラーユニットをホルダーに合わせ、はくりローラーギヤとローラー軸を形状にあわせて差し込み、ローラー軸側は短いネジ、はくりローラーギヤ側は長いネジで止めてください。

はくりローラーホルダーユニット 部品図

はくりローラーホルダー

- ⑥ はくりローラーホルダーユニットを、本体にセットし、ネジ 2 本で止めてください。オートフィードカッターユニットを元に戻してください。



5.7 ヒューズの交換



注意

指定以外のヒューズを使用しないでください。
故障や発火の原因になります。

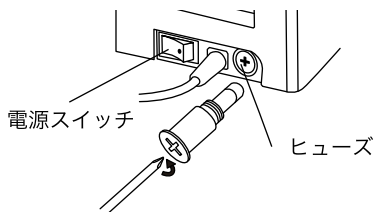
① 電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてください。

② 本体後部のヒューズホルダーのキャップを
＋ドライバーで、左に回して取りはずしてください。

③ 新しいヒューズに差し替えます。
(ガラス管ミゼットヒューズφ5.2mm1A)

④ ヒューズホルダーのキャップを＋ドライバーで、右に
回しセットしてください。

※原因が不明の場合は使用を中止し、点検をご依頼く
ださい。



6 こんなときは



警告

異常がある場合は、ご自分で修理しないでください。
異常作動などにより、けがをすることがあります。

こんなときは	考えられる原因	処置
テープが出てこない。	テープが出口の上側(下側)に接触している。	プレッシャーつまみを H (S) 方向へ回し圧力を調整してください。
	テープがはくりローラーに巻き込まれている。	プレッシャーつまみを S 方向へ回し圧力を弱くしてください。
	オートフィードカッターユニットが正しくセットされていない。	オートフィードカッターユニットを正しくセットしてください。
テープがカールする。	テープを押さえる圧力が不足している。	プレッシャーつまみを H 方向へ回し圧力を強くしてください。
	カールが著しい。	販売店にご相談ください。
テープが設定した長さにカットされない。	テープが細い。	※オプションパーツ「テープ押さえガイド」で、補正してください。(P.15)
	テープが両面粘着テープ。	※オプションパーツ「テープ押さえガイド」で、補正してください。
	テープが紙テープ。	※オプションパーツ「テープ押さえガイド」で、補正してください。
	テープが粘着力が弱い。	※オプションパーツ「弱粘着アタッチメント」で、補正してください。
	テープが伸縮する性質。	伸縮性のある素材を一定の長さにカットすることはできません。
自動送り機能(オートフィード)が動作しない。 (※キー操作はできる。)	電源が入っていない。	電源プラグ、電源スイッチを確認してください。
	オートフィードカッターユニットが正しくセットされていない。	オートフィードカッターユニットを正しくセットしてください。
		センサースイッチを ON にしてください。
	センサー部分が汚れている。	綿棒などで汚れを取り除いてください。
自動送り機能(オートフィード)が止まらずに、テープが出続ける。 スイッチを OFF にして止めてください。	故障している。	オートフィードカッターユニットを交換してください。
	テープがセンサーの中央を通っていない。	テープがセンサーの中央を通るように、テープを正しくセットし直してください。 ※オプションパーツ「テープ押さえガイド」で、補正してください。
	テープの色が黒い。	販売店にご相談ください。
	カールが著しい。	販売店にご相談ください。
プレッシャーつまみが動かない。	センサーが故障している。	オートフィードカッターユニットを交換してください。
	S か H の最大値に回している。	つまみを持ち上げるようにして、回してください。
キーを押しても動作しない。 何も表示されない。	電源が入っていない。	電源プラグ、電源スイッチを確認してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズを交換してください。

こんなときは	考えられる原因	処置
1000 2000  エラー表示。	テープが詰まっている。	テープを取り除いてリセットキーを押してください。 長さの設定を行なってください。
	高温な場所で使用している。	販売店にご相談ください。
	基板が故障している。	修理依頼をしてください。
1100 2200  エラー表示。	テープが詰まっている。	テープを取り除いてリセットキーを押してください。 長さの設定を行なってください。
	オートフィードカッターユニットにテープ以外の物（異物）を挟んでいる。	挟んでいるものを取り除きリセットキーを2回押してください。
	モーターまたは制御基板が故障している。	修理依頼をしてください。
	コネクタが接続されていない。	コネクタを接続して、リセットキーを2回押してエラー解除してください。
	コネクタの接触不良。	コネクタをまっすぐ確実に差し込んで、リセットキーを2回押してエラー解除してください。
	コネクタピンが破損している。	修理依頼をしてください。
	動作不良、部品が故障してシャッターが上がりがきいていない。	修理依頼をしてください。
	高温の環境で作業している。	電源を「OFF」にし、しばらく休ませてください。
1100 2200  エラー表示。	シャッターが上がったままになっている。	オートフィードカッターユニットを外し、カッターを一番下まで下げた後、本体に戻し、リセットキーを2回押して解除し、カットキーを押してください。（P.16）
	部品が故障している。	修理依頼をしてください。
まったく動作しない。 動作が不良。 異常表示。	周辺の電化製品の電磁波等のノイズが影響している。	ノイズの原因となる電化製品から遠ざけて設置してください。 リセットキーを2回押して解除してください。（P.15）
2000 登録しているメモリーが消えている	誤って20キーを押した。	再度、登録してください。
こげくさい。		すぐに使用を中止し、販売店へご相談ください。
異常、故障している。		すぐに使用を中止し、販売店へご相談ください。
本体が変形している。		すぐに使用を中止し、販売店へご相談ください。

※ 問題が解消しない場合は、弊社または販売店にご相談ください。

7 保守・点検・サービス ■有償にて承ります。

弊社製品を末永くご使用いただくために、定期的なメンテナンス、消耗部品の交換が不可欠です。
有償にて修理、メンテナンスサービスを承っております。修理お預かり期間（目安）は5日間です。
サービスの詳細は販売店、または株式会社エクトにお問い合わせください。

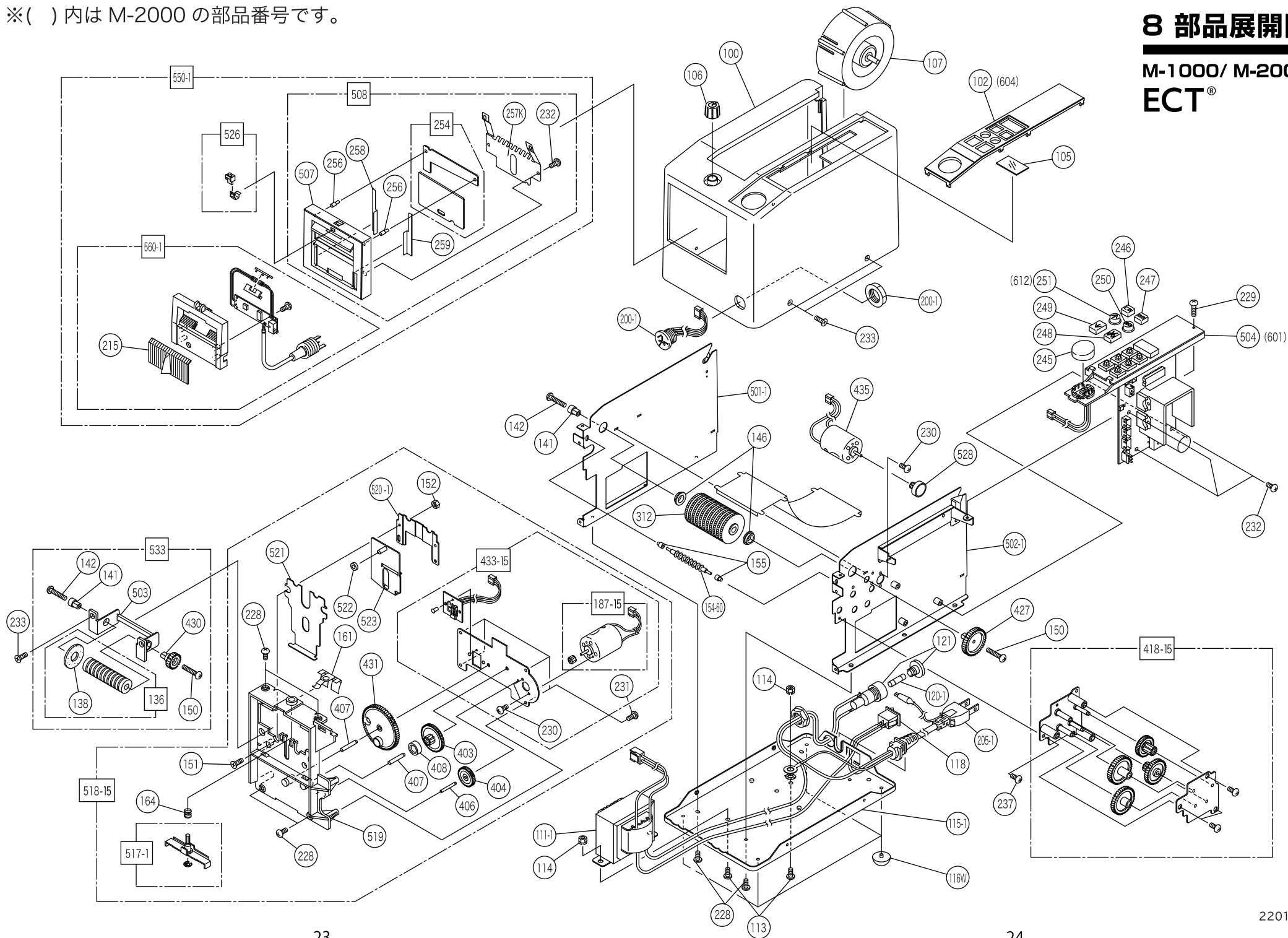
メールアドレス: **info@ectinc.co.jp**

※()内は M-2000 の部品番号です。

8 部品展開図

M-1000/ M-2000

ECT®

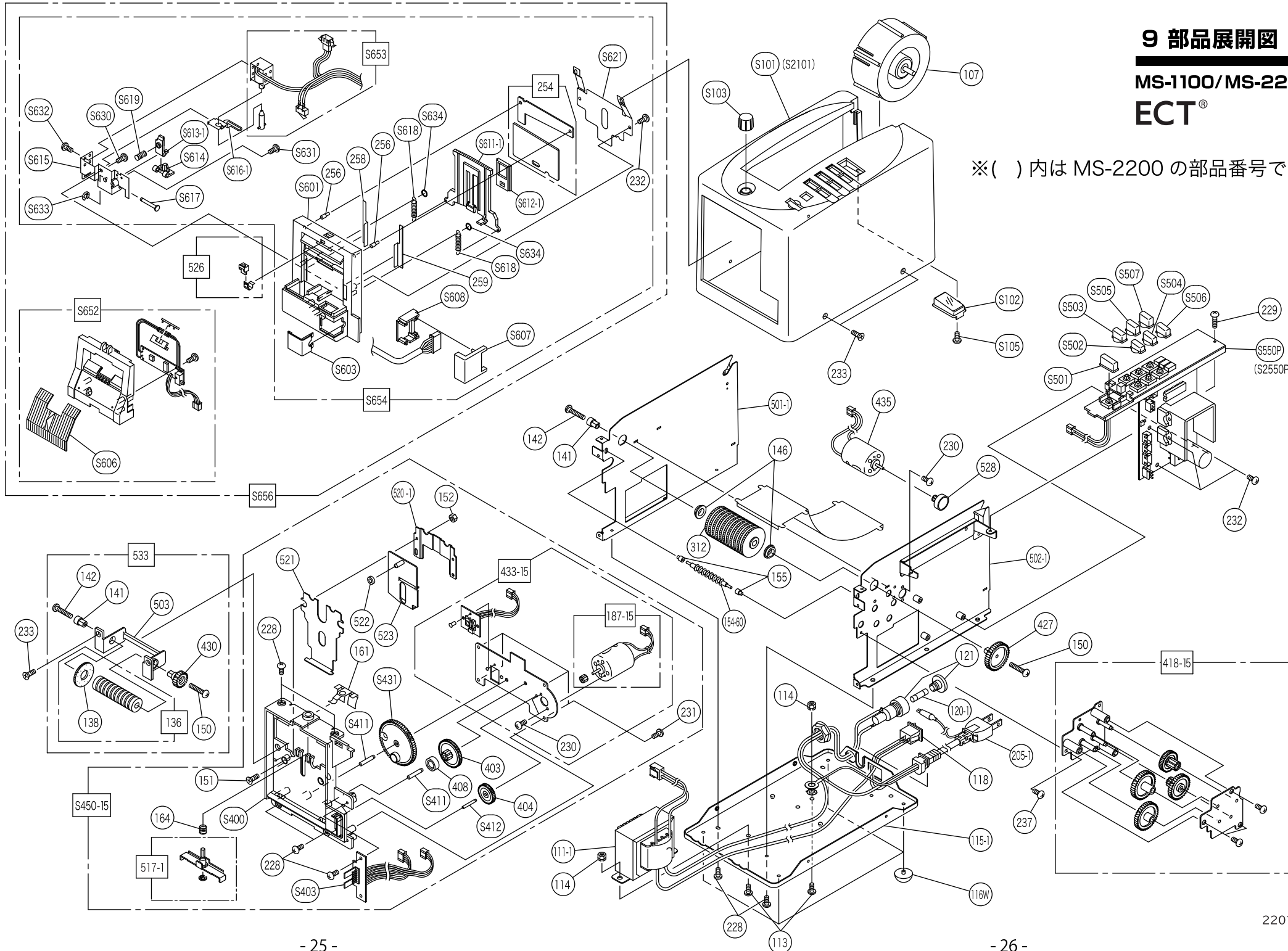


9 部品展開図

MS-1100/MS-2200

ECT®

※() 内は MS-2200 の部品番号です。



10 部品表

数字のみ・・・M-1000 専用部品
()・・・M-2000 専用部品

S・・・MS-1100 専用部品
S2・・・MS-2200 専用部品

部品番号	部品名	部品番号	部品名
100	本体カバー	237	タップタイトナベ 3×6
102 (604)	飾りプレート	245	オートボタン
105	透明板	246	スイッチボタン 1 cm
106	プレッシャーつまみ	247	スイッチボタン 1 mm
107	トリプルリールユニット	248	スイッチボタン 2 カット
111-1	トランス 100V	249	スイッチボタン 2 ↓
113	小ねじナベ 4×8	250	スイッチボタン 3 20
114	ワッシャ付きナット M4	251 (612)	スイッチボタン 3 ↑ M
115-1	底板	254	カッター 1・2
116W	足ゴムユニット「白」	256	カッター止めシャフト
118	パワースイッチ	257K	カッタースプリング「くし付」
120-1	ヒューズ「1A」 ROHS 対応	258	カッターライナー右
121	ヒューズホルダー	259	カッターライナー左
124-1	中板	289	シリコンオイル
136	剥離ローラーユニット「ヒラ」	312	送りローラー
138	剥離ローラーリング「ヒラ」	403	平歯車 15
141	ローラー軸	404	平歯車 16
142	タッピンナベ 3×20	406	平歯車軸 14
146	軸受け	407	平歯車軸 13
150	タッピンナベ 3×25	408	カラー 2
151	小ねじナベ黒 3×8	418-15	送りギヤユニット-15
152	ナット M3	427	送りローラーギヤ
154-60	押さえローラー 6φ	430	剥離ローラーギヤ
155	押さえローラーカラー	431	カッターギヤ 2 ユニット
161	カッターホルダースプリング	433-15	カッター部ギヤカバーユニット-15
164	ラベル押さえスプリング	435	送りモーターユニット
187-15	カットモーターユニット-15	501-1	側板 2 左ユニット
200-1	3 ピンコネクター	502-1	側板 3 右ユニット
205-1	コード 「100V」	503	剥離ローラーホルダー
215	密着防止プレート	520	カットレバー押さえ
228	タップタイトナベ 3×8	521	カットレバーライナー 2
229	タッピンナベ 3×14	522	カットレバーシャフトカラー
230	小ねじナベ 2.6×3	523	カットレバー 2 ユニット
231	タッピンナベ 3×10A	504 (601)	制御板ユニット
232	小ねじナベ 3×5	233	タップタイト丸皿黒 3×8

数字のみ・・・M-1000 専用部品 S・・・MS-1100 専用部品
 ()・・・M-2000 専用部品 S2・・・MS-2200 専用部品

部品番号	部品名	部品番号	部品名
507	カッターホルダー 2	S613-1	ストッパー
508	カッターホルダーユニット	S614	リムーバー
517-1	ローラー押さえユニット	S615	ブラケット
518-15	前面ホルダーユニット -15	S616-1	ムーバー 2
519	前面ホルダー 3	S617	ストッパーシャフト
526	オープンセット	S618	シャッタースプリング
528	ピニオンギヤユニット	S619	リターンスプリング
533	剥離ローラーホルダーユニット「ヒラ」	S621	カッタースプリング
550-1	オートフィードカッターユニット (MA-1000)	S630	タップタイトねじ B3×8
560-1	センサーユニット	S631	タップタイトねじ B2×10
S101	本体カバー	S632	十字穴付きねじ B2.6×10
S102	フィルター	S633	E リング ETW2.3
S103	プレッシャーつまみ	S634	O リング 抜け止め
S105	タップタイトねじ B3×6	S652	センサーユニット
S400	前面ホルダー	S653	新ソレノイドユニット
S403	前面コネクター	S654	カッターホルダーユニット
S411	平歯車軸 21	S656	オートフィードカッターユニット (MA-1100)
S412	平歯車軸 22	S2101	本体カバー ※ 2200
S431	カッターギヤ 2 ユニット	S2550-2	制御板ユニット ※ 2200
S450-15	前面ホルダーユニット -15		
S501	オートボタン		
S502	スイッチボタン 1 カット		
S503	スイッチボタン 2 ↓		
S504	スイッチボタン 3 RESET		
S505	スイッチボタン 4 ↑		
S506	スイッチボタン 5 mm		
S507	スイッチボタン 6 cm		
S550P	制御板ユニット (PSW 付)		
S601	カッターホルダー		
S603	コネクターリッド		
S606	密着防止カバー		
S607	コネクター 3		
S608	コネクター 4		
S611-1	シャッター		
S612-1	スライダー		

このページはオプション部品が書かれています。
 部品展開図 (P.23～26) に部品図は掲載されておりません。

部品番号	部品名	用途
136-1	剥離ローラーユニット「ローレット」	通常の剥離リング「部品番号 138」で詰まりやすい 薄手や弾力性の弱いテープ用。 ※ご購入前に適正検査推奨いたします。
138-1	剥離ローラーリング「ローレット」	通常の剥離リング「部品番号 138」で詰まりやすい 薄手や弾力性の弱いテープ用。 ※ご購入前に適正検査推奨いたします。
107N	細幅用リールユニット	幅が細く、巻き数の多いテープ使用時に装着するリール
109	φ30 リールユニット	各サイズに対応したリール
110	φ31 リールユニット	
564	φ32 リールユニット	
565	φ33 リールユニット	
566	φ34 リールユニット	
567	φ35 リールユニット	
533-1	剥離ローラーホルダーユニット「ローレット」	
903	テープ押さえガイド「テープ押さえガイドユニット」	テープ蛇行防止ガイド「マグネット式」
RS24	リールスタンド 24	テープの外径が 240mm までの大巻テープ用スタンド
RS35	リールスタンド 35	テープの外径が 350mm までの大巻テープ用スタンド ※3701 パワーリールとの同時装着で使用します。
3701	パワーリール	リールスタンド 35 用 75mm 幅に対応したリール
LR0028	ライナーリムーバー 28mm	剥離紙付テープの剥離紙を剥がしながらカットします。 28mm 幅に対応したライナーリムーバー
LR0040	ライナーリムーバー 40mm	剥離紙付テープの剥離紙を剥がしながらカットします。 40mm 幅に対応したライナーリムーバー

※詳細については、販売店へご連絡ください。

11 製品仕様

品番	M-1000	M-2000	MS-1100	MS-2200
表示	3桁 LED デジタル			
使用可能テープ幅	7～50mm ※幅 7～30mm 以下のテープの場合はテープ押さえガイド(別売)のご使用を推奨いたします。			
テープの長さ設定範囲	20～999mm		30～999mm	
適用リール	3 インチ (φ76mm)、φ35mm,1 インチ (φ25mm)			
適用テープ外径	(最大) φ170mm			
適用テープ種類	セロハンテープ、メンディングテープ、クラフトテープ、布粘着テープ、PP テープ、片面剥離紙付き両面テープ、フィラメントテープ、クレープテープ等。 ※ただし、著しくカールする、粘着力が強い、展開力が強い、色が黒い、透明度が高い、薄い、滑る、静電気が起きやすいテープは対応できない場合があります。			
駆動	テープ送り、自動カット：DC モーター			
消費電力	18W			
電源	AC100V 50/60Hz			
使用可能照度	蛍光灯： 3,000 ルクス以下 (40W 灯下 30cm 位) 白熱灯： 800 ルクス以下 (60W 灯下 45cm 位) 太陽光： 10,000 ルクス以下 ※屋外での使用はできません。			
使用温度・湿度	5℃～40℃ 湿度 80%RH 以下			
外形寸法 (W×L×H)	137×245×156mm	137×245×156mm	137×249×156mm	137×249×156mm
質量	約 2.4kg		約 2.5kg	
本体材質 (カバー)	ABS			
生産国	日本			

※ テープの種類・環境により異なりますが、寸法誤差 ±2mm 程度生じる場合があります。推奨する素材でも特性により使用できない場合があります。

※ 予告なく仕様、外観の変更をする場合がございます。

12 保証規定

1. 保証期間内に説明書に従った正常な使用にて万一故障した場合は、お買い上げ販売店または当社が無料保証いたします。
(※消耗部品は除く。)
2. 次のような場合は保証期間内でも有料修理になります。
 - A. 本保証書のご提示が無い場合。
 - B. 本保証書の所定事項のご記入が無い場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - C. ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - D. お買い上げ後の輸送・落下等による故障および損傷。
 - E. 火災・地震・風水害その他天災地変による故障および損傷。
 - F. 異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷。
 - G. 特殊なテープのご使用による、走行不良・カット長の異常。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

ECT® 電子テープディスペンサー 保証書

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、本保証書記載内容により、無料修理いたします。（※消耗部品は除く。）
修理は、お買い上げの販売店または当社に必ず本保証書を添えてご依頼ください。 This warranty is only valid in Japan.

品番: ☐M-1000 ☐M-2000 ☐MS-1100 ☐MS-2200
※いずれかにチェック

製造番号：

保証期間：お買い上げ日より 6 ヶ月

お客様： ご住所
お名前
電話番号

販売店： 住所
 店名
 電話番号

印

※お買い上げの際、販売店で必ずご記入ください。

株式会社エクト www.ectinc.co.jp

千葉工場 〒264-0025 千葉県千葉市若葉区都賀2-18-5	本社 〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-13-8
TEL 043-214-4882	ホウエイビル4F
FAX 043-214-4883	TEL 03-5924-6677 (代表)
	FAX 03-5924-6456